F☆☆☆☆ 溶剤形二液エポキシ樹脂系床用塗料

レジフロアー
RESIFLOOR

耐水・耐油性
防塵性
リフト走行可

❖ 用途 ❖

化学工場床
食品工場床
研究室床
醸造所床
物流倉庫
など

※防滑仕様可能

大日本塗料株式会社

標準色 ※受注品

ロイヤルグリーン
（45-50Hと45-30Lの間あたり）

ビバグリーン
(39-40L 近似)

ブラウン
(07-30L 近似)

キャメルベージュ
(19-70F 近似)

アイスグレー
(N-70 近似)

※本色見本はイメージです。
また、（　）内日塗工近似表記は、あくまでイメージのための参考値です。実際の仕上がり色・つやとは異なりますので、施工の際は、予め塗装見本などで必ずご確認下さい。
※調色可能

レジフロアー 溶剤形二液エポキシ樹脂系床用塗料

F☆☆☆☆

塗料性状

項　目		内　容		
容姿		二液性		
荷姿		20kgセット（主剤16kg、硬化剤4kg）		
色相		各色		
光沢		つや有り		
密度（23℃）	塗　料	1.40±0.05		
	揮発分	0.85		
加熱残分		70±10%（白、淡彩色）		
乾燥時間	温　度	5℃	20℃	30℃
	指　触	5時間	1時間	30分
	半硬化	48時間	8時間	4時間
標準膜厚		90μm/回		
引火点		SDS参照		
発火点		SDS参照		
爆発限界（下限～上限）		SDS参照		

関連法規

危険物表示	主剤:第4類第2石油類　硬化剤:第4類第1石油類
有機溶剤区分	主剤・硬化剤:第2種有機溶剤含有物
有害物表示	SDS参照
劇物表示	ー

塗装基準

項　目		内　容		
下地処理		素材表面の油分、汚れ、埃などを除去し乾燥した清浄な面とする。 pH10以下、含水率10％以下		
調合法		主剤80部：硬化剤20部（重量比）		
熟成時間		10分		
可使時間		12時間		
塗装方法		刷毛・ローラー		
希釈剤		レジフロアーシンナー		
塗装法	塗装方法	刷毛・ローラー		
	希釈率	0～10％		
	標準使用量	0.25kg/㎡/回		
	標準膜厚	100μm/回		
	ウェット管理膜厚	ー		
乾燥時間	温　度	5℃	20℃	30℃
	最　小	24時間	16時間	12時間
	最　大	8日	7日	7日

※塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。
※標準使用量は実測値に基づき算出しています。
　また被塗物の形状などにより標準使用量は変動します。

標準塗装仕様［コンクリート・モルタル床］

工　程		商品名	塗り回数（回）	色　相	混合比率（重量比）	塗装方法	希釈率（%）（重量比）	標準使用量（kg/㎡/回）	塗装間隔（20℃）
素地調整		1.ごみ、油分などの付着物、エフロレッセンスなどをスケーラー、ワイヤーブラシ、サンドペーパーなどで除去する。 2.平滑（凸面は削って平滑にする）にしたのち清拭する。 3.コンクリート打設４週間以上経過した下地で、含水率10%以下・pH10以下を条件とする。							乾燥後
不陸調整		面のくぼみ、クラック、目違いなどの部分はその程度によりパテ材や不陸調整材などで埋めて平らにする。							乾燥後
平滑仕様	下塗り	マイティーエポシーラークリヤー	1	クリヤー	主剤　50 硬化剤50	刷毛・ローラー	エポニックスシンナーA 30～50	0.10～0.12	16時間以上 7日以内
	上塗り	**レジフロアー**	2	各色	主剤　80 硬化剤20	刷毛・ローラー	レジフロアーシンナー 0～10	0.25	16時間以上 7日以内
防滑仕様	下塗り	マイティーエポシーラークリヤー	1	クリヤー	主剤　50 硬化剤50	刷毛・ローラー	エポニックスシンナーA 30～50	0.10～0.12	16時間以上 7日以内
	上塗り 一層目	**レジフロアー**	1	各色	主剤　80 硬化剤20	刷毛・ローラー	レジフロアーシンナー 0～10	0.25	直後
	骨材散布	上塗り一層目が乾燥しないうちに、リシンガン・ふるいなどを用いて、珪砂をムラなく均一に散布する。 （珪砂の粒径は6～7号が好ましく、散布量は0.06～0.30kg/㎡） 塗膜の乾燥硬化後、余剰骨材は回収する。							4時間以上
	上塗り 二層目	**レジフロアー**	1	各色	主剤　80 硬化剤20	刷毛・ローラー	レジフロアーシンナー 0～10	0.25	ー

※ 旧塗膜が健全な場合は、下塗りの「マイティーエポシーラークリヤー」を省略することができます。
※ 歩行可能時間は、上塗り二層目塗装後、16時間以上経過してからです。
※ 標準使用量は、被塗物の形状や塗装方法・環境によって増減することがあります。

施工上の注意

1.塗料の混合：使用時に規定の割合に混合し、十分に撹拌して均一な状態にして下さい。混合比を間違えると塗膜性能が十分に発揮できず、また塗膜が硬化しないことがあります。
2.希釈：塗料はやや堅目ですが、原則としシンナーで希釈しないで使用して下さい。特に必要な場合には、10%以内の範囲でレジフロアーシンナーを加えて調整して下さい。
3.可使時間：主剤と硬化剤との混合後は、可使時間以内に使い切って下さい。硬化が進んだ塗料はシンナーを加えても使用できません。
4.刷毛塗り：刷毛は腰のやや強いものを使用して下さい。
5.塗装用具の洗浄：塗装器具は使用後、直ちにレジフロアーシンナーで洗浄して下さい。一度硬化するとシンナーで溶けなくなります。
6.下地 ：素材がカラーコンクリートの場合付着性が劣りますので、弊社にご相談下さい。下地に旧塗膜がある場合は、あらかじめ密着性を確認してから施工して下さい。
7.防滑仕様：骨材の散布量は、多いと埃がたまって汚れやすいので、施工場所の状況によって調整して下さい。

使用上の注意

引火性の液体で、危険有害性情報のある物質を含有していますので、取扱いには下記の注意事項を守って下さい。※詳細な内容は、安全データシート（SDS）をご参照下さい。

● 取扱い上の注意
1. 火気のない局所排気装置を設けたところで使用して下さい。
2. 塗装中、乾燥中は換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
3. 取扱い中は、皮ふにふれないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用して下さい。
　有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、頭巾、保護めがね、長袖の作業衣、えり巻きタオル、保護手袋等。
4. 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。
5. 塗料の付いたウエスや塗料カス、スプレーダストは廃棄するまで水につけておいて下さい。
6. よくフタをし、40℃以下の一定の場所に貯蔵して下さい。
7. 子供の手の届かないところに保管して下さい。
8. 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。
9. 本来の用途以外に使用しないで下さい。
10. 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。

● 緊急時の処置
1. 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器又は粉末消火器を用いて下さい。
2. 目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
3. 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
4. 皮ふに付着した時には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みや皮ふに変化等がある場合には、医師の診察を受けて下さい。
5. 蒸気、ガス等を吸込んで気分が悪くなった時には、安静にし、医師の診察を受けて下さい。
6. 容器からこぼれた時には、布で拭きとり、その布を水の入った容器に保管して下さい。⑥⑦

※本チラシ値は、製品を適正にご使用頂くための代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。
※本製品の内容は予告なく変更することがあります。　※本チラシに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。

DNT 大日本塗料株式会社

大阪営業所 ☎06-6266-3116 〒542-0081 大阪市中央区南船場1-18-11（SRビル長堀）
東京営業所 ☎03-5710-4501 〒144-0052 東京都大田区蒲田5-13-23（TOKYU REIT 蒲田ビル）
札幌営業所 ☎011-822-1661 〒003-0012 札幌市白石区中央二条1-5-1
仙台営業所 ☎022-288-8866 〒984-0011 宮城県仙台市若林区六丁の目西町8-1（齋喜センタービル）
名古屋営業所 ☎052-332-1701 〒460-0022 名古屋市中区金山1-12-14（金山総合ビル）
広島営業所 ☎082-286-2811 〒732-0802 広島市南区大州3-4-1
福岡営業所 ☎092-938-8222 〒811-2317 福岡県糟屋郡粕屋町長者原東3-10-5

塗料相談室 フリーコール 0120-98-1716（いーないろ）　https://www.dnt.co.jp/

C-8339.25.03①（prd)pdf